

# アル法に求めるもの

・社会福祉教育カリキュラム開発  
・専門治療病院だけではない、一般医療機関や福祉関連機関で働くSWに対する研修カリキュラムの開発と実施

SWの  
人材養成・育成の  
開発・推進・研究  
(養成校教育、現任教育)

アウトリーチ力  
問題発見力  
早期発見・早期支援  
(治療)

国民に、具体的な相談窓口に関する情報提供を持続的に行うためのプロモーション活動の充実

多様な場で身近に相談できる機能を充実させる。

(専門治療機関をはじめ、市区町村の行政機関、一般医療機関、地域包括支援センターなどに回復支援SWを必置)

# 参考文献・資料

- ・日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー協会 調査研究事業委員会  
「アルコール依存症リハビリテーション医療機関・福祉施設ソーシャルワーカー全国調査 平成16年度三菱財団社会福祉事業」 2005。
- ・日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー協会 調査研究事業委員会  
「アルコール依存症者の社会復帰施設とその利用者に関する調査研究報告書」厚生労働省平成19年度障害者保健福祉推進事業(障害者自立支援調査研究プロジェクト)「地域活動支援センターにおけるアルコール依存症者の社会復帰促進相談事業」 2008。
- ・窪田暁子「福祉援助の臨床 共感する他者として」誠信書房 2013。
- ・吉川晴子・片岡千都子「アルコール依存の早期発見と治療のための地域ネットワークー四日市での取り組みからー」『社会福祉研究』第121号、2014。
- ・アルコールソーシャルワーク理論生成研究会(代表稗田里香)『アルコール依存症者のリカバリーを支援するソーシャルワーク実践ガイド／一般医療機関によるアウトリーチ(早期発見・早期治療)のための支援地図』アルコールソーシャルワーク理論生成研究会、2014。